



全校児童による別れの言葉

南島原市立野田小学校閉校記念式典

令和八年二月一日(日)に閉校記念式典が開催されました。当日は天候に恵まれ、晴天の下、閉校記念式、記念碑除幕式等を無事に開催することができました。

地区代表として挨拶をされた野田名振興会長の本山様の御言葉や、全校児童による別れのメッセージは、胸に響きました。当日は、家庭科室や動画視聴等で御覧になった方もいらっしゃるかと思えます。関係者の皆様をはじめ、関わってくださった全ての皆様に感謝申し上げます。

令和七年度野田小学校だより第二十四号

南風とともに

つながりと成長をとおして
だれもが幸せを感じる学校づくり

校長 大平 啓二



閉校記念碑



【野田小のヒストリールームへ】

二月一日の閉校記念式典に合わせて、家庭科室での中継を計画しました。来校していただく人に喜んでいただくとうと教頭を中心に家庭科室を期間限定でヒストリールームにしております。二月末まで展示いたしますので、保護者の皆様、地域の皆様、是非御来校ください。来校の際には、職員室へ一声かけていただきますようお願いいたします。



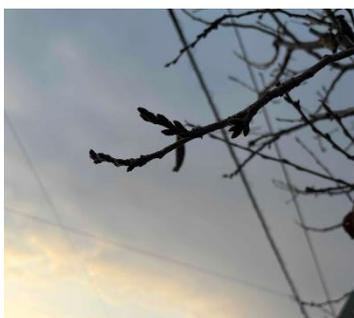
閉校記念式典の節目に想うこと

学校の歴史は、そこで過ごした皆さんの歴史です。野田小学校が閉校になっても、本校が育んだ野田の精神や校風は、野田地域の風土として、これからも人から人へ継承されていくものと確信しています。

【大寒をこえて立春へ】

一月二十日の大寒を過ぎて、朝夕の寒さが厳しくなった気がします。先日は、出勤中の車の外気温表示がマイナス二度を示していました。現在、本校は、インフルエンザ等の流行もなく昼休みも運動場で元気に過ごしている子どもたちもたくさんいます。子どもは風の子だと昔からよくいっただけです。今後も元気に過ごせるように手洗い・うがい・早寝早起き・朝ごはんの習慣をお願いします。

また、二月四日は、立春を迎えました。学校前の桜の木も春に備えています。



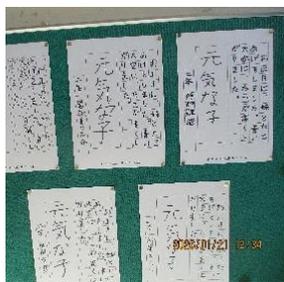
「寒いね」と言えば「寒いね」と答える暖かさ。寒い日には、下へ下へと根を伸ばせ。やがて春が来れば、花が咲く。(平澤 興氏)

野田つ子三十八名も、四月になれば、それぞれの新しい環境で新年度をむかえます。残りの期間で本年度のまとめとこれからの準備のための自分磨き・アップデートができるよう全職員で指導・支援を行います。最後まで、御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

【書き初め会】 思いをのせて筆を走らせる

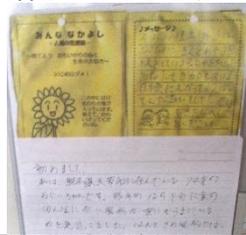


三年生以上が体育館で書き初め会を行いました。三年生以上が毛筆、一・二年生は硬筆で一文字一文字丁寧に書いていました。高学年は、書く言葉も自分で選んでいました。「正々堂々」「元気湧刺」など前向きな言葉がたくさんありました。



天草から届きました

～人権の風船メッセージ～
12月に運動場で飛ばした人権のメッセージ。海を越えて天草まで届き、風船のメッセージを読んだ74歳の天草在住の方から返事が届きました。つながる気持ちが嬉しくなります。



『給食に感謝していただきます』

一月末に交流給食を実施しました。給食週間に合わせて行いました。他学年同士の様々な組み合わせで、いつもと違う友達と食べる給食時間に笑顔があふれていました。



【大縄跳び】

二月六日の縄跳び発表会に向けて個人技と同様に、大縄跳びも各班頑張ってきました。六年生が率先して声をかけ、練習した分だけ上手に跳べるようになってきた姿に感動しました。



【烏骨鶏(うこけい)】

閉校に伴い、うこけいや金魚の行先を検討しています。金魚は、育ててくださる方が決まり譲渡が無事終わりました。うこけいも、加津佐小ではなく、譲渡を検討中です。